

ねじは二度回転する ユングで読む『ねじの回転』

谷 綾子

『ねじの回転』(1898)という表題は語り手の「私」がつけたものである。そもそもこの表題はクリスマスイヴに Douglas の館に集まった客人の怪談話に端を発している。男児の目の前に幽霊が出たという話のある客人がしたとき、子供一人の前に幽霊がでると言うことが話に一ひねり(another turn of the screw)加えているとすれば、子供二人の前に幽霊がでる話はどうだろうか、と尋ねる Douglas に対して、客人の一人は子供が二人なら二ひねり(two turns)だと答える。この会話を元に語り手の「私」が、本作に『ねじの回転』というタイトルをつけたのである(3)。表題がついた経緯から、この物語は二ひねり加えられていると考えられる。つまり、ねじは二度回転するのである。だが、ねじが二度回転するとはどういう意味なのだろうか？

本発表ではユングが提唱する自己実現のモデルに基づき、家庭教師の精神の軌跡を考察していく。家庭教師はユングにおける自己実現の失敗例であり、その失敗の原因はまさに家庭教師における欲望の軸が二度回転することにあるのである。

まず初めに、ユングにおける自己実現のモデルについて概説する。ユングは自我(ego)と自己(self)を区別している。自我が意識の中核だとすれば自己は無意識の中核といえる。意識を司る自我の下には無意識の領域があるが、自己実現とはこの無意識下に潜り、自我と自己とを統合することだとしている。また、ユングは無意識下における自分自身との出会いはまず「影」との出会いとして経験されると言う。影とは、その個人が認容しがたいものとしている心的内容であり、それは文字どおり、そのひとの暗い影の部分を作っている(『ユング心理学入門』86-87)。そして影よりもっと深い無意識のレベルを代表する内的人格として「アニムス」が顕われるのである。アニムスとは女性の無意識下に潜む男性性のことである(『無意識の構造』102)。ユングは、人は影やアニムスを通じて無意識の中核にある「自己」(self)に到達しようと考えている(Stein, 140)。つまり、ユングにおける女性の自己実現とは人間が自分の内界に目を向け、影やアニムスを媒介として、最終的に自己に到達することにある。

家庭教師は本来であれば影やアニムスを表象する幽霊達を媒介にして自己の象徴である子供達に到達できるはずであった。だが、家庭教師の歪んだ欲望のせいで、彼女の自己実現は失敗に終わる。最初のゆがみは紳士の不在によって、二度目のゆがみは紳士への失望によって生じる。ねじは二度ひねられるのである。どちらにせよ、家庭教師の問題は自分の影やアニムスの分身である幽霊達を統合するのではなく、幽霊が表象するところの性的願望を子供達側にのみ存在する悪として断罪することにある。さらに彼女は、幽霊を媒介に自己を表象する子供達に接触するどころか、子供達から幽霊を取り除こうとする過ちを犯す。子供達を執拗に監視する家庭教師の様子は完全にノイローゼそのものだが、ユングにおいてノイローゼという神経症は自我(ego)と影が統一できないことによって生じる症状である(*The Handbook of Jungian Psychology*, 100)。家庭教師は幽霊達が表象するところの性的欲求が自分のものでもあることを認められないがゆえ、影を統合することができず、結果として神経症に陥ってしまう。家庭教師は子供達、とりわけ Miles の同性愛の性向を不自然なものとして考えるが、実際は人間の発達の過程で自然に生じる性的願望を悪と決めけ、それを抑圧しようとする家庭教師の態度こそ不自然だったのである。家庭教師における自己実現の失敗は、Bly の自然の中で、それまでの牧師館での息苦しい生活にはなかった自由を享受した家庭教師に芽生えた性的欲求を無理やり押し込めたことにある。家庭教師は Miles の性的欲求を殺し、それによって家庭教師自身の性的欲求をも殺してしまっている。その結果、家庭教師は生きた Miles を手に入れることができず、家庭教師の自己実現は失敗に終わるのである。

参考文献

- James, Henry. *The Turn of the Screw*. London: Penguin Books, 2011.
- Papadopoulos, Renos K. *The Handbook of Jungian Psychology*. London: Routledge, 2006.
- Stein, Murray. *Jung's Map of the Soul: An Introduction*. Illinois: Carus Publishing Company, 1998.
- 河合隼雄. 『無意識の構造』. 東京: 中公新書, 2014年.
- , 『ユング心理学入門』. 東京: 岩波書店, 1994年.